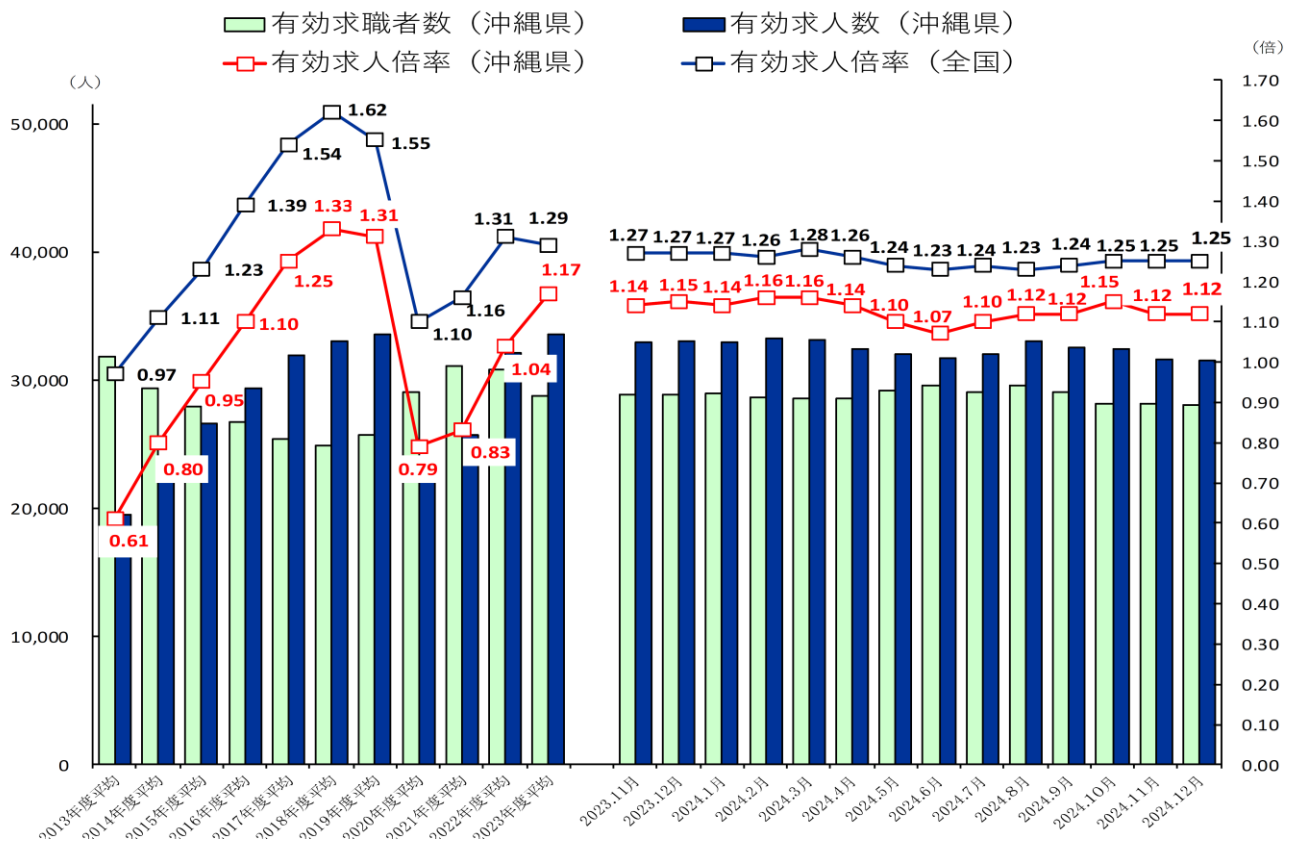


4. 県内観光関連事業者における雇用動向

(1) 県内労働市場の現状

県内の有効求人倍率は、令和5年6月の2カ年にわたり、有効求人倍率が、1倍を超える状況が続いている。

日本銀行那覇支店による調査でも、令和6年3月調査では「-58」、6月調査では「-59」、9月調査では「-55」、12月調査では「-59」となっており、人手不足と回答する企業は高止まりしている。人手不足の状況は今後も継続すると考えられ、雇用環境については引き続き注視が必要である。

【求職・求人及び求人倍率の推移】⁵【県内企業短期経済観測調査結果(令和5年12月調査) 雇用人員判断】⁶

(「過剰」-「不足」・%ポイント)

	2023年 12月調査	2024年 3月調査	6月調査	9月調査		12月調査			
				最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
全産業	▲58	▲58	▲59	▲55	▲57	▲59	▲4	▲57	2
製造業	▲40	▲52	▲44	▲48	▲44	▲52	▲4	▲52	0
非製造業	▲61	▲58	▲62	▲56	▲59	▲61	▲5	▲58	▲3
参考: 全国(全産業)	▲35	▲36	▲35	▲36	▲40	▲36	0	▲41	▲5

⁵ 沖縄労働局「労働市場の動き(令和6年12月分)」<https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/content/contents/002134623.pdf>

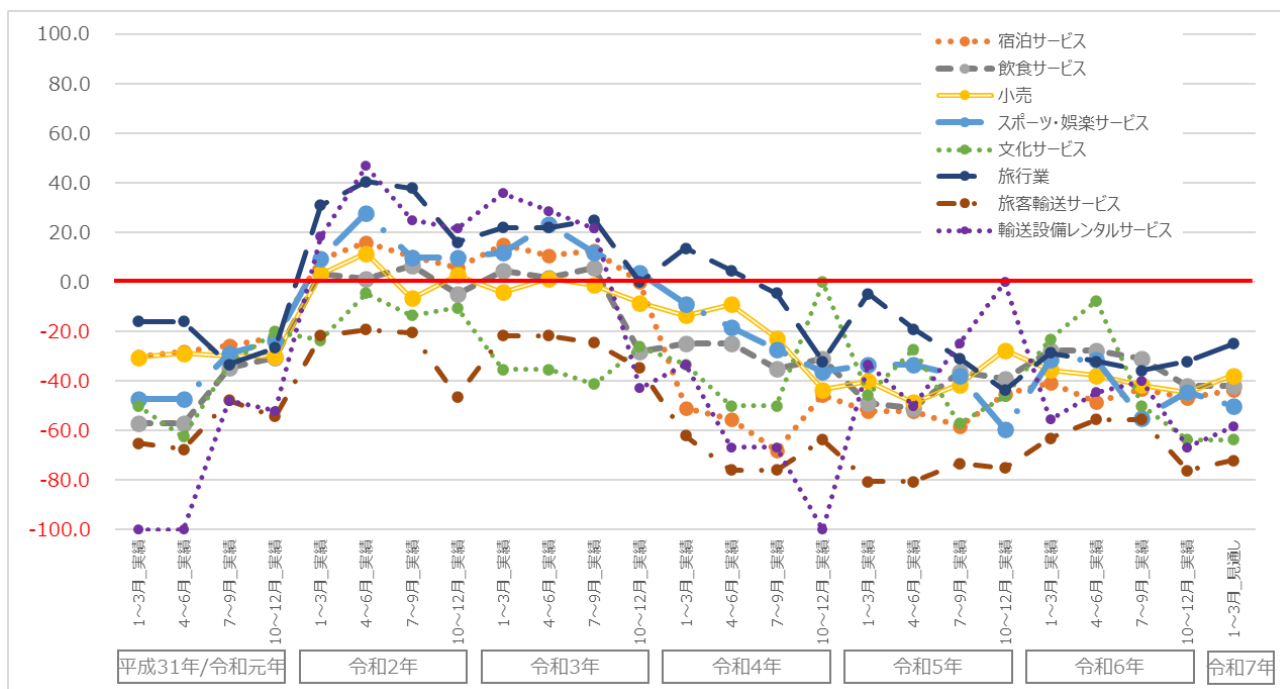
⁶ 日本銀行那覇支店「県内企業短期経済観測調査結果(2024年12月調査)」<https://www3.boj.or.jp/naha/pdf/0012tan2412.pdf>

(2) 県内観光関連事業者における従業員 DI

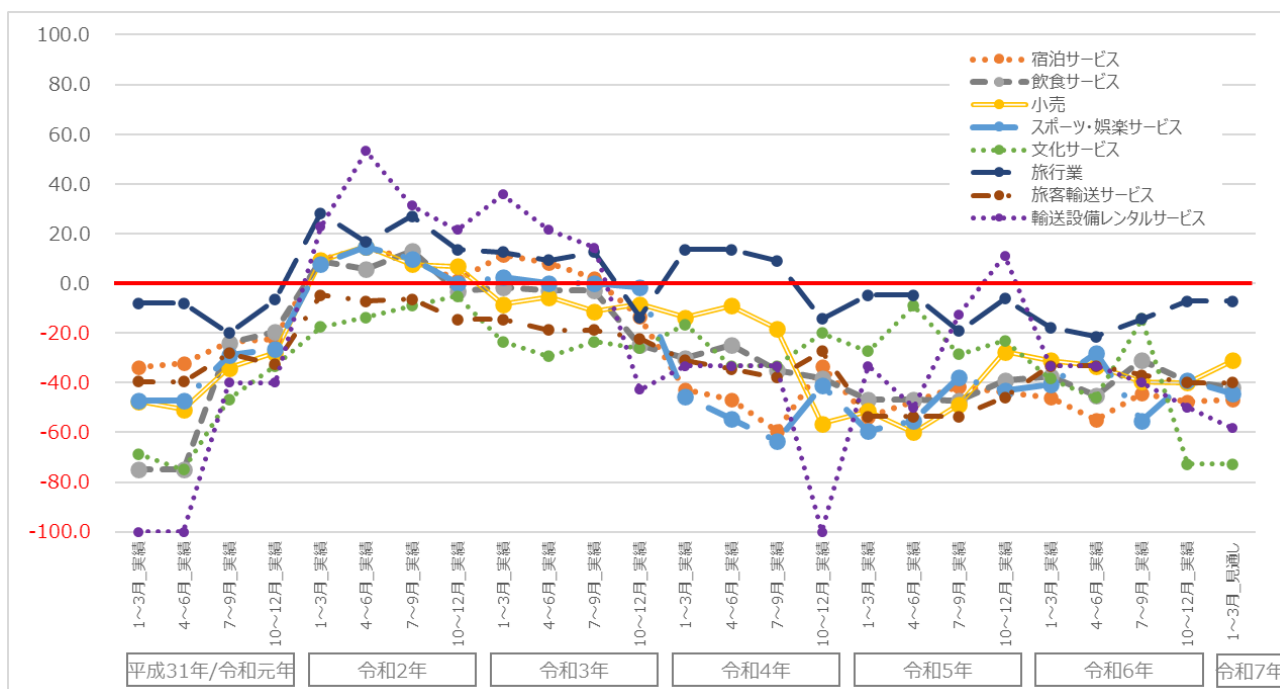
県内観光関連事業者における従業員 DI によると、正規雇用者・非正規雇用者ともに、令和6年年間を通じ、「人手不足」を感じる状況となっている。エリア別にみると、宮古エリアにおいて、正規雇用者・非正規雇用者ともに、他エリアと比較すると「人手不足」を感じる割合は低くなっている。

観光需要が急激に回復する一方で、多くの観光関連事業者において人手不足を強く感じる状況が継続していることから、慢性的な人手不足に陥っている状況が懸念され、注視していく必要がある。

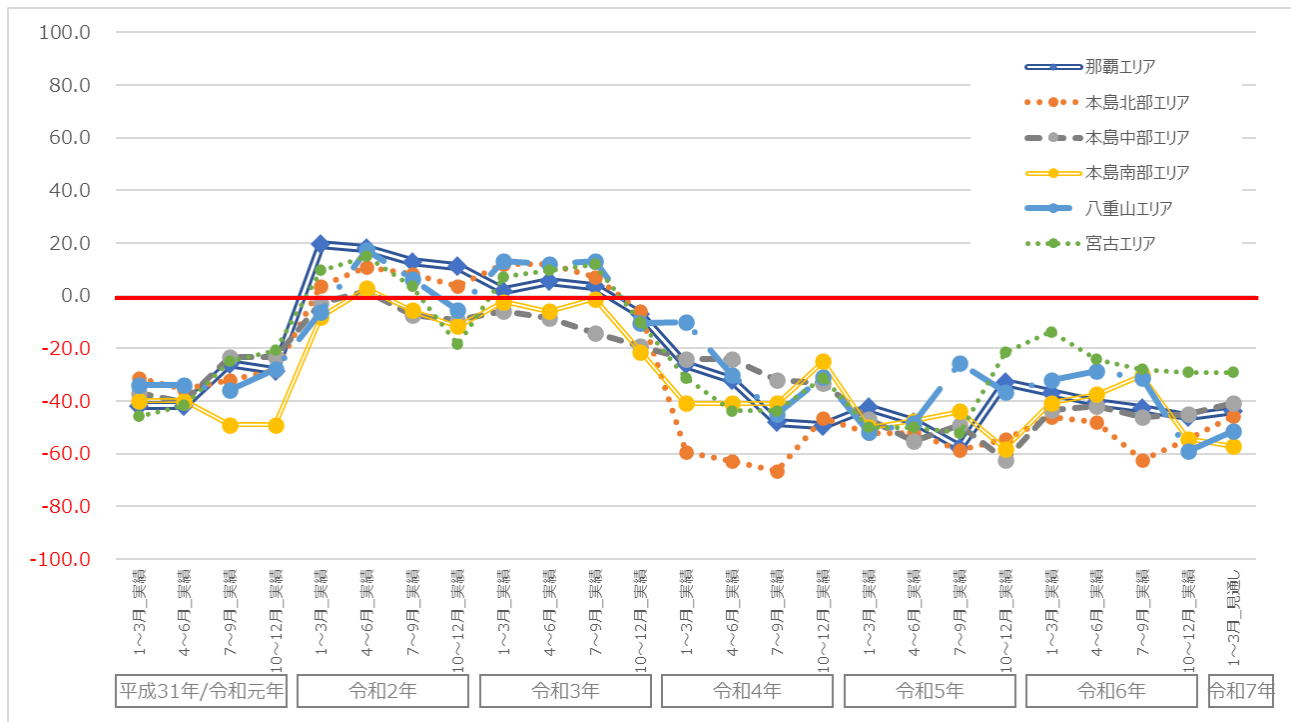
(業種別)従業員 DI ・正規



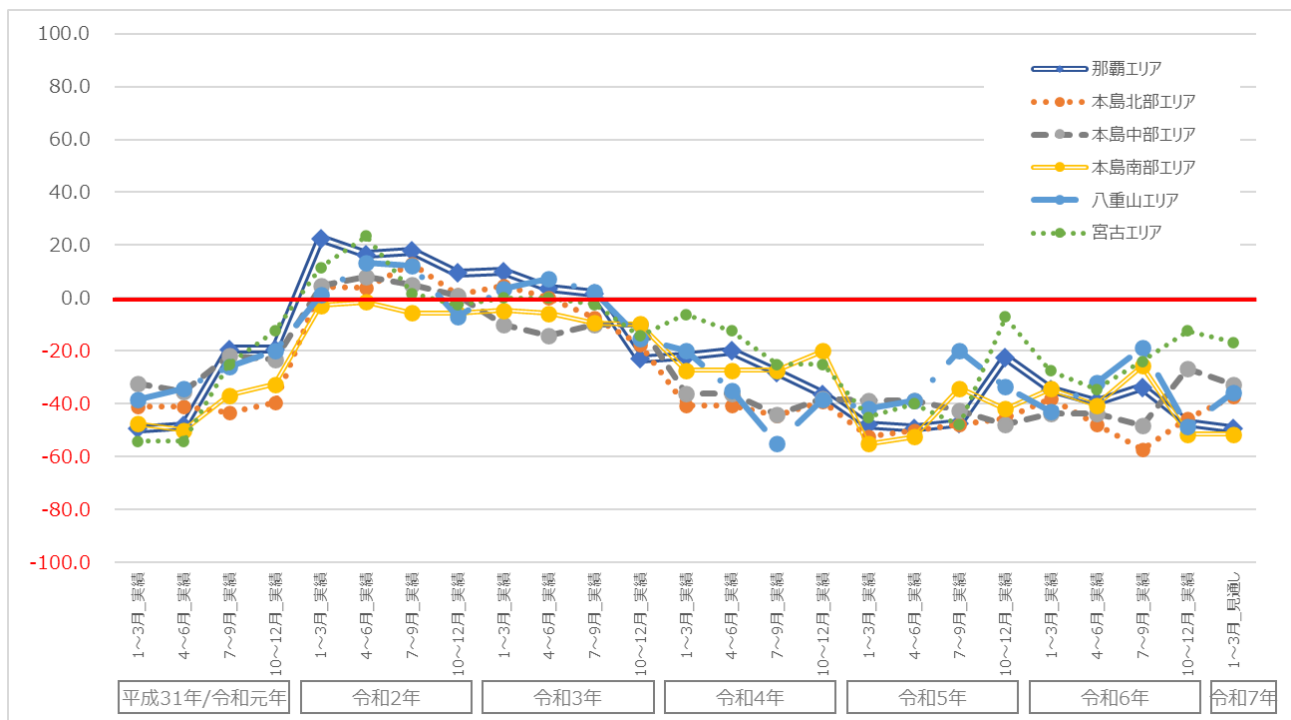
・非正規



(エリア別)従業員 DI ・正規



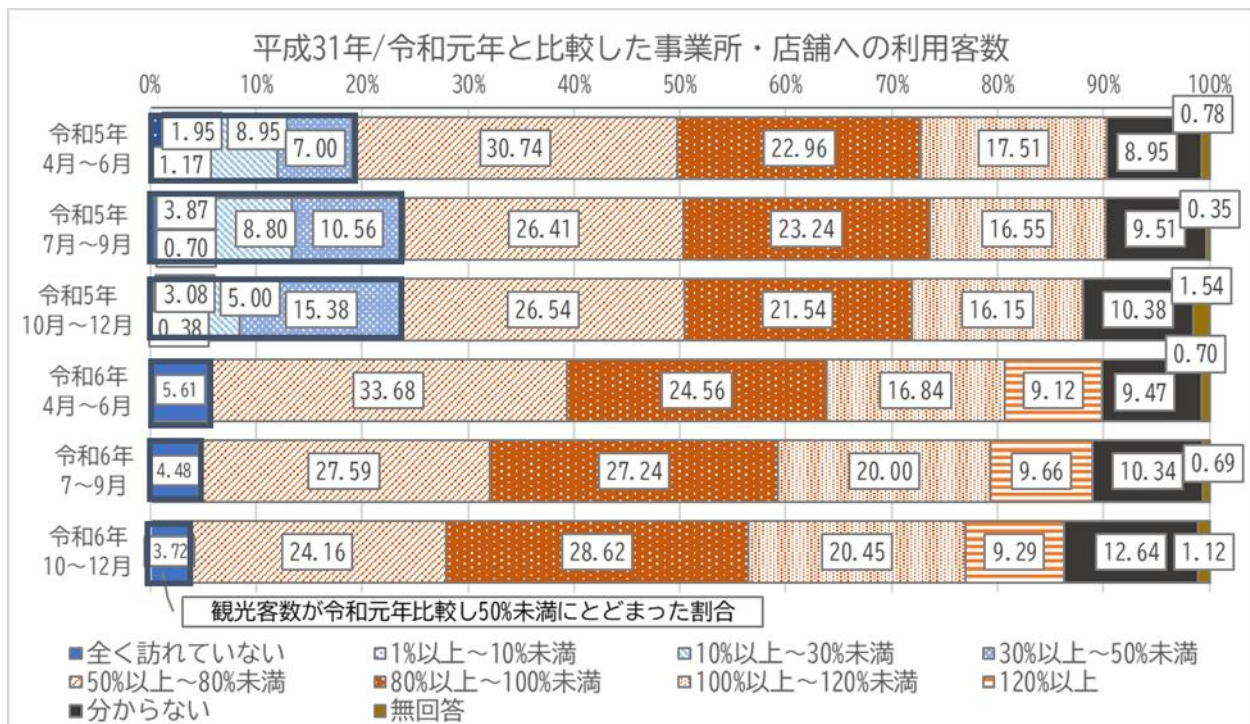
・非正規



5. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)からの回復の状況について【景況感調査(第4四半期)】

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の5類感染症への移行後、令和6年(暦年)では、過去3番目に多い入域観光客数となる中、景況感調査と合わせ、事業所・店舗における利用客や経営状況について調査を行った。

調査の結果、コロナ以前である平成31年/令和元年と比較し、利用客数が50%未満にとどまった事業所・店舗の割合は、前回調査からさらに減少し、3.72%となった。利用客数が100%以上と回答した割合も引き続き約3割に達しており、個別の事業所・店舗単位でも観光客が戻りつつある実感が得られていると推察される。



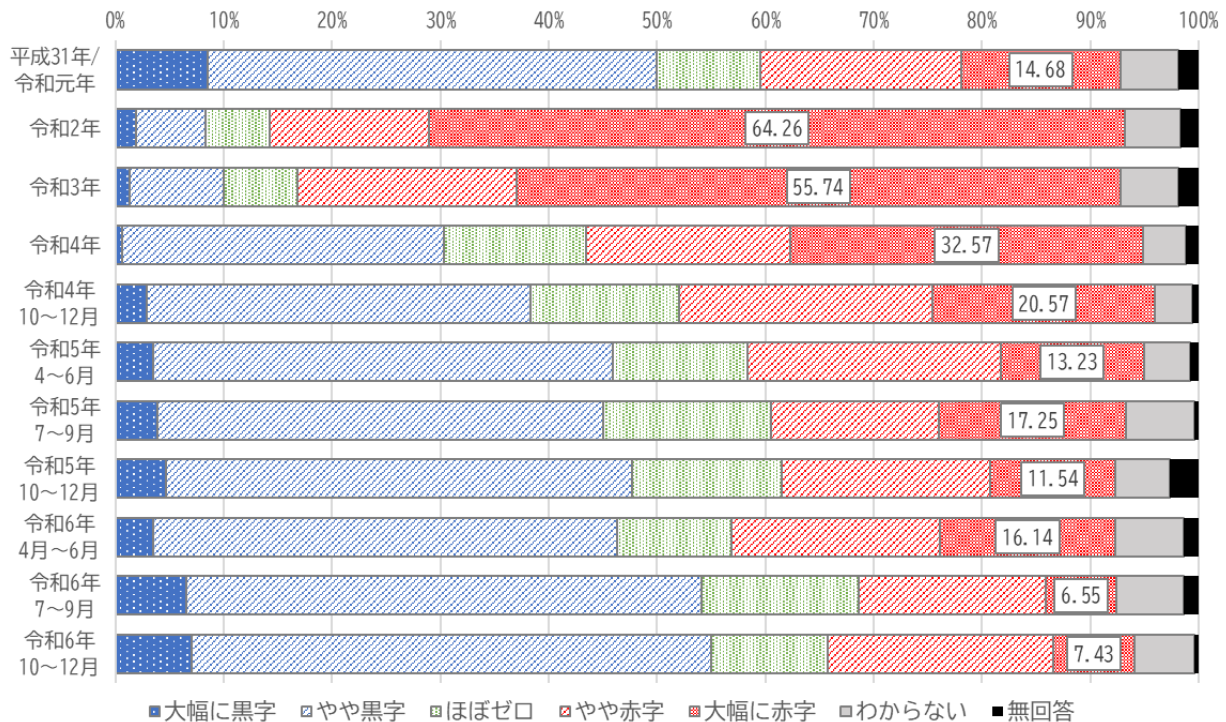
コロナ以前(平成31年/令和元年1年間)と比較し、利用客はどのぐらい訪れていますか。

(%)

		全業種・エリア					
		令和5年 4月～6月	令和5年 7月～9月	令和5年 10月～12月	令和6年 4月～6月	令和6年 7月～9月	令和6年 10月～12月
全く訪れていない～ 50%未満	全く訪れていない	1.17	0.70	0.38	5.61	4.48	3.72
	1%以上～10%未満	1.95	3.87	3.08			
	10%以上～30%未満	8.95	8.80	5.00			
	30%以上～50%未満	7.00	10.56	15.38			
50%以上～80%未満		30.74	26.41	26.54	33.68	27.59	24.16
80%以上～100%未満		22.96	23.24	21.54	24.56	27.24	28.62
100%以上		17.51	16.55	16.15	16.84	20.00	20.45
		-	-	-	9.12	9.66	9.29
100%以上～120%未満					9.47	10.34	12.64
120%以上					0.70	0.69	1.12
分からない		8.95	9.51	10.38	9.47	10.34	12.64
無回答		0.78	0.35	1.54	0.70	0.69	1.12

また、事業所・店舗の採算状況についても、採算状況が大幅に赤字と回答した事業所・店舗は、7.43%となり、前回調査に引き続き1割以下となっている。入域観光客数が好調に推移していること、商品・サービスの販売価格DIが「上昇」超の傾向が継続している影響などが要因として考えられるが、ヒアリング等では販売価格が上げにくくなっている等の声が上がっているほか、引き続き物価高騰や人手不足に伴う人件費の上昇も顕著である。引き続き、県内観光関連事業者の経営状況について、注視していく必要がある。

事業所・店舗の採算状況の推移



貴事業所・店舗の採算状況について、お聞かせください。

全業種・エリア							
	平成31年/ 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和4年 10～12月	令和5年 4～6月	令和5年 7～9月
大幅に黒字	8.51	1.91	1.28	0.57	2.86	3.50	3.87
やや黒字	41.49	6.38	8.72	29.71	35.43	42.41	41.20
ほぼゼロ	9.57	5.96	6.81	13.14	13.71	12.45	15.49
やや赤字	18.51	14.68	20.21	18.86	23.43	23.35	15.49
大幅に赤字	14.68	64.26	55.74	32.57	20.57	13.23	17.25
わからない	5.32	5.11	5.32	4.00	3.43	4.28	6.34
無回答	1.91	1.70	1.91	1.14	0.57	0.78	0.35

(%)

	令和5年 10～12月	前々回調査 令和6年 4月～6月	前回調査 令和6年 7～9月	今回調査 令和6年 10～12月
大幅に黒字	4.62	3.51	6.55	7.06
やや黒字	43.08	42.81	47.59	47.96
ほぼゼロ	13.85	10.53	14.48	10.78
やや赤字	19.23	19.30	17.24	20.82
大幅に赤字	11.54	16.14	6.55	7.43
わからない	5.00	6.32	6.21	5.58
無回答	2.69	1.40	1.38	0.37

※各結果については、以下の調査結果を引用

平成31年/令和元年～令和3年結果： R3年第4四半期調査

令和4年、令和4年10月～12月結果： R4年第4四半期調査

令和5年4月～6月結果： R5年第2四半期調査

令和5年7月～9月結果： R5年第3四半期調査

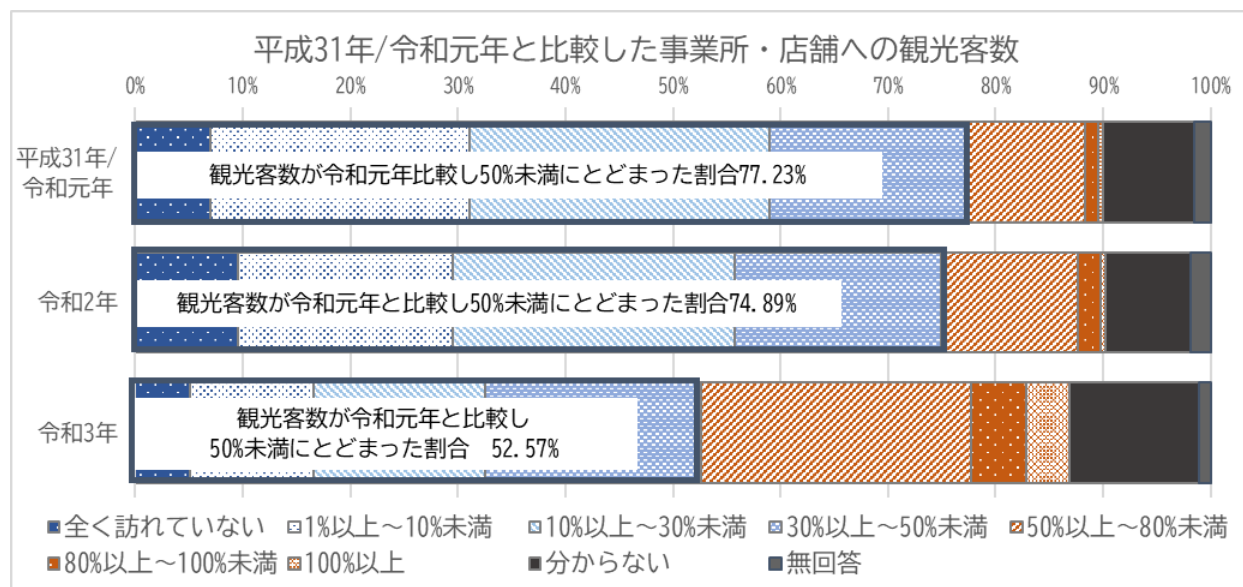
令和5年10月～12月結果： R5年第4四半期調査

令和6年4月～6月結果： R6年第2四半期調査

令和6年7月～9月結果： R6年第3四半期調査

令和6年10月～12月結果： R6年第4四半期調査

◆参考資料 平成31年/令和元年と比較した事業所・店舗への観光客数の状況
(令和4年第4四半期調査結果より抜粋)



コロナ以前(平成31年/令和元年1年間)と比較し、観光客はどのぐらい訪れていますか。

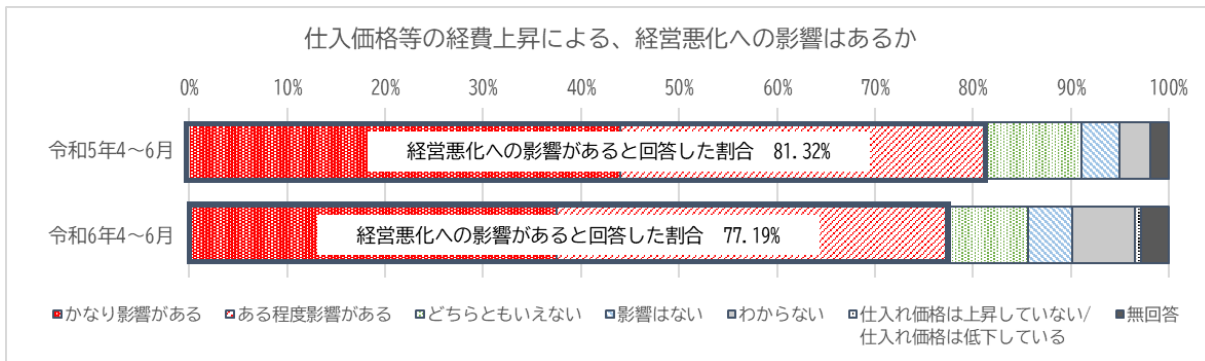
		全業種・エリア		
		平成31年/ 令和元年	令和2年	令和3年
全く訪れていない～ 50%未満	全く訪れていない	7.02	9.57	5.14
	1%以上～10%未満	24.04	20.00	11.43
	10%以上～30%未満	27.87	26.17	16.00
	30%以上～50%未満	18.30	19.15	20.00
50%以上～80%未満		11.06	12.77	25.14
80%以上～100%未満		1.28	2.13	5.14
100%以上		0.43	0.43	4.00
分からない		8.51	7.87	12.00
無回答		1.49	1.91	1.14

※平成31年/令和元年、令和2年結果は、R3年第4四半期調査での調査結果を引用

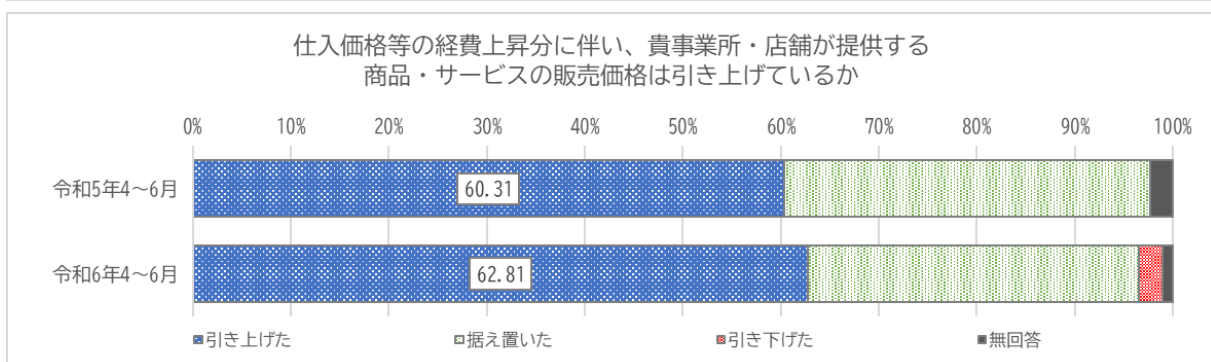
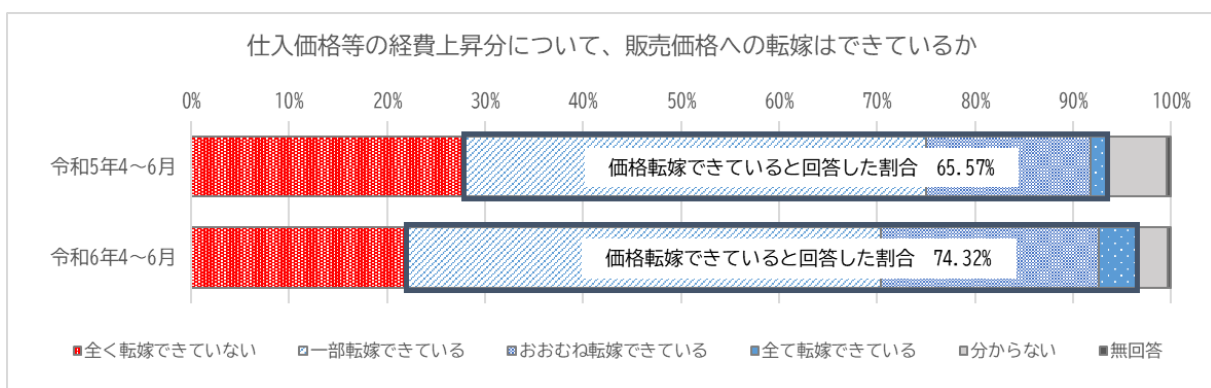
6. 仕入価格等の経費上昇などによる価格転嫁の動向【景況感調査(第2四半期)】

物価高騰、人件費の上昇等が継続する中、令和5年度に引き続き、観光関連事業者における経営への影響や、価格転嫁の動向について調査を実施した。

調査の結果、仕入れ価格等の経費上昇による経営悪化への影響があると回答した事業所・店舗は、「かなり影響がある」37.54%、「ある程度影響がある」39.65%を合わせると 8 割弱に達しており、昨年同時期と比較し若干その割合は減少しているが、依然として、高い水準にあり、県内の多くの観光関連事業者において、仕入れ価格等の経費上昇が経営上の大きなリスクとなっているとみられる。



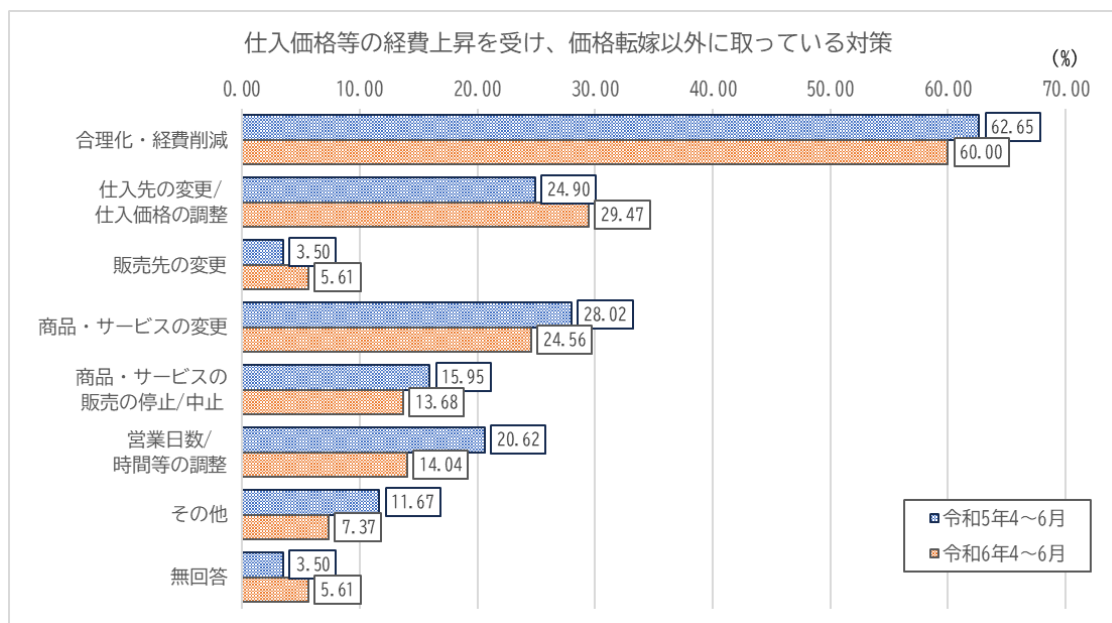
しかしながら、一方で、仕入れ価格等の経費上昇分の販売価格への転嫁について、価格転嫁できていると回答した割合は、65.57%から 74.32%へ上昇しているほか、商品・サービスの販売価格を引き上げたと回答した事業所・店舗の割合も若干上昇していることから、徐々に価格転嫁の動きが進んでいるとみられる。しかしながら、商品・サービスの販売価格を引き上げたと回答した事業所・店舗の割合は、6 割程度にとどまっていることから、依然として多くの事業所・店舗において、膨らむ経費を十分に吸収できるだけの、十分な価格転嫁ができていない状況がうかがえる。



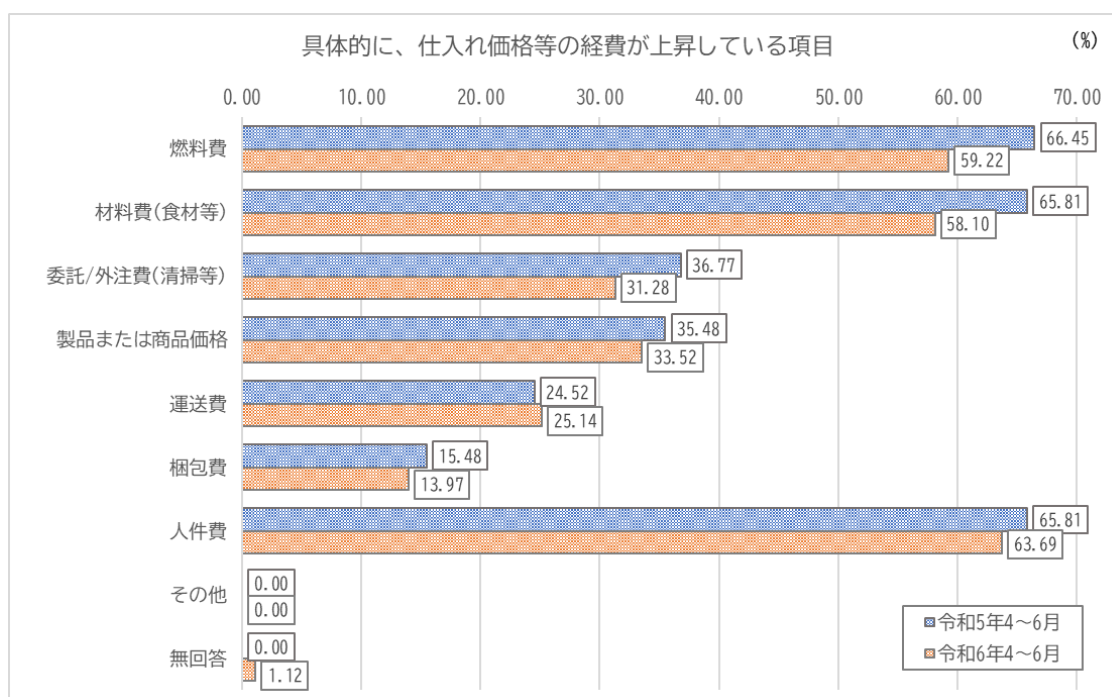
沖縄県観光産業実態調査

十分な価格転嫁ができていない中、事業所・店舗では、価格転嫁以外にどのような取り組みを行っているのか。「合理化・経費削減」と回答した事業所・店舗は 60.00%と昨年度と同様、最も多くなった。続いて、「仕入先の変更/仕入価格の調整」29.47%、「商品・サービスの変更」24.56%と回答する割合が高くなっており、昨年度と比較し、割合に若干の変動はあるものの、事業所・店舗における取り組みは昨年度から大きく変化していないことが伺える。

昨年も同様に指摘したように、物価高騰や人件費上昇は今後も継続すると見込まれており、経営の合理化・経費削減を続けるだけでは、企業の経営は厳しい状況が続くこととなると考えられることから、企業側の動向に引き続き注視が必要と考えられる。



また、本調査では、具体的に、仕入れ価格等の経費が上昇している項目についても、調査を行った。多くの回答があったのは、「燃料費」59.22%、「材料費(食材費)」58.10%、「人件費」63.69%となっており、昨年と傾向は大きく変化していない。



◆参考資料 クロス集計表(エリア別/業種別)

仕入価格等の経費上昇による、経営悪化への影響はあるか

上段(n)、下段(%)

	合計	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エ ア	宮古エリ ア	業種 宿泊サービ ス	飲食サービ ス	小売	スポーツ・ 娯楽サービ ス	文化サービ ス	旅行代理店 その他の予 約サービス	旅客輸送 サービス	輸送設備レ ンタルサー ビス
全体(n)	285	84	50	62	32	28	29	91	40	45	32	13	28	27	9
1 かなり影響がある	107	31	19	21	9	17	10	37	27	12	11	0	7	9	4
2 ある程度影響がある	37.54	36.90	38.00	33.87	28.13	60.71	34.48	40.66	67.50	26.67	34.38	0.00	25.00	33.33	44.44
3 どちらともいえない	113	38	21	25	11	3	15	36	10	26	15	2	13	11	0
4 影響はない	39.65	45.24	42.00	40.32	34.38	10.71	51.72	39.56	25.00	57.78	46.88	15.38	46.43	40.74	0.00
5 わからない	24	9	2	6	2	3	2	8	2	3	3	1	2	3	2
6 仕入れ価格は上昇していない/ 仕入れ価格は低下している	8.42	10.71	4.00	9.68	6.25	10.71	6.90	8.79	5.00	6.67	9.38	7.69	7.14	11.11	22.22
7 無回答	13	2	1	4	3	2	1	1	1	2	1	1	3	3	1
	4.56	2.38	2.00	6.45	9.38	7.14	3.45	1.10	2.50	4.44	3.13	7.69	10.71	11.11	11.11
	18	3	5	4	5	0	1	6	0	1	1	7	1	1	1
	6.32	3.57	10.00	6.45	15.63	0.00	3.45	6.59	0.00	2.22	3.13	53.85	3.57	3.70	11.11
	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	0.70	0.00	0.00	3.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.22	0.00	7.69	0.00	0.00	0.00
	8	1	2	0	2	3	0	3	0	0	1	1	2	0	1
	2.81	1.19	4.00	0.00	6.25	10.71	0.00	3.30	0.00	0.00	3.13	7.69	7.14	0.00	11.11

(前問で「1,2,3,4」のいずれかを選択した場合)仕入価格等の経費上昇分について、販売価格への転嫁はできているか

上段(n)、下段(%)

	合計	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エ ア	宮古エリ ア	業種 宿泊サービ ス	飲食サービ ス	小売	スポーツ・ 娯楽サービ ス	文化サービ ス	旅行代理店 その他の予 約サービス	旅客輸送 サービス	輸送設備レ ンタルサー ビス
全体(n)	257	80	43	56	25	25	28	82	40	43	30	4	25	26	7
1 全く転嫁できていない	57	14	9	12	6	10	6	22	8	5	10	1	3	7	1
2 一部転嫁できている	22.18	17.50	20.93	21.43	24.00	40.00	21.43	26.83	20.00	11.63	33.33	25.00	12.00	26.92	14.29
3 おおむね転嫁できている	124	36	26	25	13	17	17	47	22	13	13	2	10	13	4
4 全て転嫁できている	48.25	45.00	60.47	44.64	52.00	28.00	60.71	57.32	55.00	30.23	43.33	50.00	40.00	50.00	57.14
5 分からない	57	23	5	16	3	7	3	8	7	21	7	0	9	4	1
6 無回答	22.18	28.75	11.63	28.57	12.00	28.00	10.71	9.76	17.50	48.84	23.33	0.00	36.00	15.38	14.29
	10	5	1	2	0	0	0	1	3	3	0	0	2	1	0
	3.89	6.25	2.33	3.57	4.00	4.00	0.00	1.22	7.50	6.98	0.00	0.00	8.00	3.85	0.00
	8	2	1	1	2	0	2	4	0	1	0	1	0	1	1
	3.11	2.50	2.33	1.79	8.00	0.00	7.14	4.88	0.00	2.33	0.00	25.00	0.00	3.85	14.29
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.39	0.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00

仕入価格等の経費上昇に伴い、貴事業所・店舗が提供する商品・サービスの販売価格は引き上げているか

上段(n)、下段(%)

	合計	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エ ア	宮古エリ ア	業種 宿泊サービ ス	飲食サービ ス	小売	スポーツ・ 娯楽サービ ス	文化サービ ス	旅行代理店 その他の予 約サービス	旅客輸送 サービス	輸送設備レ ンタルサー ビス
全体(n)	285	84	50	62	32	28	29	91	40	45	32	13	28	27	9
1 引き上げた	179	57	32	41	21	15	13	52	31	37	15	3	17	19	5
2 据え置いた	62.81	67.86	64.00	66.13	65.63	53.57	44.83	57.14	77.50	82.22	46.88	23.08	60.71	70.37	55.56
3 引き下げた	96	27	18	19	9	8	15	32	8	8	17	10	10	8	3
4 無回答	33.68	32.14	36.00	30.65	28.13	28.57	51.72	35.16	20.00	17.78	53.13	76.92	35.71	29.63	33.33
	7	0	0	2	1	1	1	5	1	0	0	0	0	0	0
	2.46	0.00	0.00	3.23	3.13	10.71	3.45	5.49	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	11.11
	3	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0
	1.05	0.00	0.00	0.00	3.13	7.14	0.00	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00	3.57	0.00	0.00

(前問で「1」と回答した場合)具体的に、仕入れ価格等の経費が上昇している項目はどれか

上段(n)、下段(%)

	合計	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エ ア	宮古エリ ア	業種 宿泊サービ ス	飲食サービ ス	小売	スポーツ・ 娯楽サービ ス	文化サービ ス	旅行代理店 その他の予 約サービス	旅客輸送 サービス	輸送設備レ ンタルサー ビス
全体(n)	179	57	32	41	21	15	13	52	31	37	15	3	17	19	5
1 燃料費	106	30	24	18	13	11	10	35	20	15	12	0	7	15	2
2 材料費(食料等)	59.22	52.63	75.00	43.90	61.90	73.33	76.92	67.31	64.52	40.54	80.00	0.00	41.18	78.95	40.00
3 委託/外注費(清掃等)	104	32	22	23	12	9	6	38	31	22	9	1	1	2	0
4 製品または商品価格	58.10	56.14	68.75	56.10	57.14	60.00	46.15	73.08	100.00	59.46	60.00	33.33	5.88	10.53	0.00
5 運送費	56	18	13	15	5	3	2	28	3	13	4	1	4	1	2
6 梱包費	31.28	31.58	40.63	36.59	23.81	20.00	15.38	53.85	9.68	35.14	26.67	33.33	23.53	5.26	40.00
7 人件費	60	25	4	14	8	6	3	12	9	19	5	2	8	3	2
8 その他	33.52	43.86	12.50	34.15	38.10	40.00	23.08	23.08	29.03	51.35	33.33	66.67	47.06	15.79	40.00
9 無回答	45	15	4	10	7	7	2	11	5	16	4	1	4	3	1
	25.14	26.32	12.50	24.39	33.33	46.67	15.38	21.15	16.13	43.24	26.67	33.33	23.53	15.79	20.00
	25	10	3	4	5	2	1	2	5	15	3	0	0	0	0
	13.97	17.54	9.38	9.76	23.81	13.33	7.69	3.85	16.13	40.54	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	114	40	15	28	14	10	7	31	23	24	10	2	8	13	3
	63.69	70.18	46.88	68.29	66.67	66.67	53.85	59.62	74.19	64.86	66.67	66.67	47.06	68.42	60.00
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	2	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	1.12	1.75	3.13	0.00	0.00	0.00	0.00	3.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

仕入価格等の経費上昇を受け、価格転嫁以外にどのような対策を取っているか

上段(n)、下段(%)

	合計	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エ ア	宮古エリ ア	業種 宿泊サービ ス	飲食サービ ス	小売	スポーツ・ 娯楽サービ ス	文化サービ ス	旅行代理店 その他の予 約サービス	旅客輸送 サービス	輸送設備レ ンタルサー ビス
全体(n)	285	84	50	62	32	28	29	91	40	45	32	13	28	27	9
1 合理化・経費削減	171	56	30	38	21	7	19	62	22	25	20	5	15	18	4
2 仕入先の変更/仕入価格の調整	60.00	66.67	60.00	61.29	65.63	25.00	65.52	68.13	55.00	55.56	62.50	38.46	53.57	66.67	44.44
3 販売先の変更	84	28	12	22	7	4	11	33	24	6	5	2	9	4	1
4 商品・サービスの変更	29.47	33.33	24.00	35.48	21.88	14.29	37.93	36.26	60.00	13.33	15.63	15.38	32.14	14.81	11.11
5 商品・サービスの販売の停止/中止	16	5	2	4	4	1	0	6	4	3	0	0	1	1	1
6 営業日数/時間等の調整	5.61	5.95	4.00	6.45	12.50	3.57	0.00	6.59	10.00	6.67	0.00	0.00	3.57	3.70	11.11
7 その他	70	18	14	20	6	7	5	16	17	15	6	1	8	3	4
8 無回答	24.56	21.43	28.00	32.26	18.75	25.00	17.24	17.58	42.50	33.33	18.75	7.69	28.57	11.11	44.44
	39	12	6	8	5	5	3	13	11	5	3	0	3	2	2
	13.68	14.29	12.00	12.90	15.63	17.86	10.34	14.29	27.50	11.11	9.38	0.00	10.71	7.41	22.22
	40	12	6	12	5	2	3	10	15	6	1	2	3	3	0
	14.04	14.29	12.00	19.35	15.63	7.14	10.34	10.99	37.50	13.33	3.13	15.38	10.71	11.11	0.00
	21	6	3	4	3	5	0	6	1	2	4	6	0	2	0
	7.37	7.14	6.00	6.45	9.38	17.86	0.00	6.59	2.50	4.44	12.50	46.15	0.00	7.41	0.00
	16	3	4	1	3	4	1	5	0	3	4	0	1	2	1
	5.61	3.57	8.00	1.61	9.38	14.29	3.45	5.49	0.00	6.67	12.50	0.00	3.57	7.41	11.11

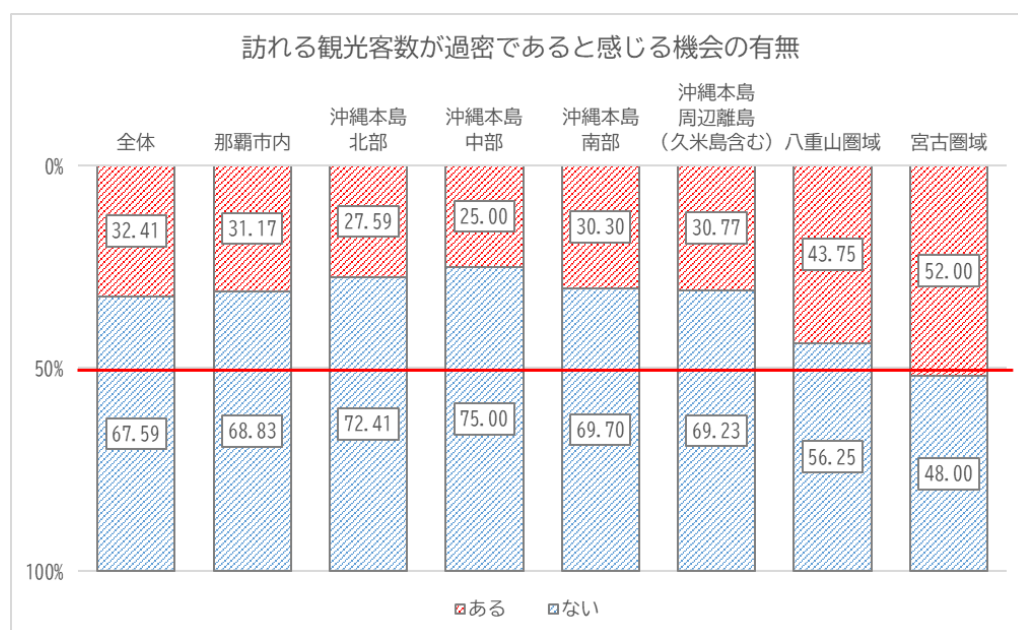
7. 地域別の観光客の状況【景況感調査(第3四半期)】

外国人観光客数は、コロナ前の水準まで戻っていないものの、国内観光客については、夏季繁忙期である7月～9月期にはコロナ前を上回るなど、入域観光客数が、好調に推移する中で、地域別の観光客の状況と、観光客の急激な増加に伴う、施設や地域の課題について調査を実施した。

調査は、回答者が運営する事業所・店舗が所在する地域に訪れる観光客の状況について回答を求めた。

調査の結果、沖縄本島周辺離島を含む本島エリアでは、訪れる観光客数が過密であると感じる機会が「ある」と回答した事業所・店舗の割合が、3割前後にとどまった。一方、八重山圏域では、43.75%、宮古圏域では、52%となり、本島エリアと比較して観光客数が過密であると感じる事業所・店舗の割合が高くなっている。

■訪れる観光客数が過密であると感じる機会の有無



訪れる観光客数が過密であると感じる機会はありますか。

	全体	運営されている事業所・店舗が所在する地域						
		那覇市内	沖縄本島北部	沖縄本島中部	沖縄本島南部	沖縄本島周辺離島 (久米島含む)	八重山圏域	宮古圏域
ある	94 32.41	24 31.17	16 27.59	13 25.00	10 30.30	4 30.77	14 43.75	13 52.00
ない	196 67.59	53 68.83	42 72.41	39 75.00	23 69.70	9 69.23	18 56.25	12 48.00
無回答	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

なお、観光客数が過密であると感じる頻度や時期としては、いずれのエリアでも、「夏期シーズン」との回答が最も多くなっている。特に、八重山圏域、宮古圏域については、「夏期シーズン」と回答した割合が、八重山圏域では64.29%、宮古圏域では、76.92%となっており、夏季繁忙期に、観光客数の過密を特に感じていることが明らかになった。

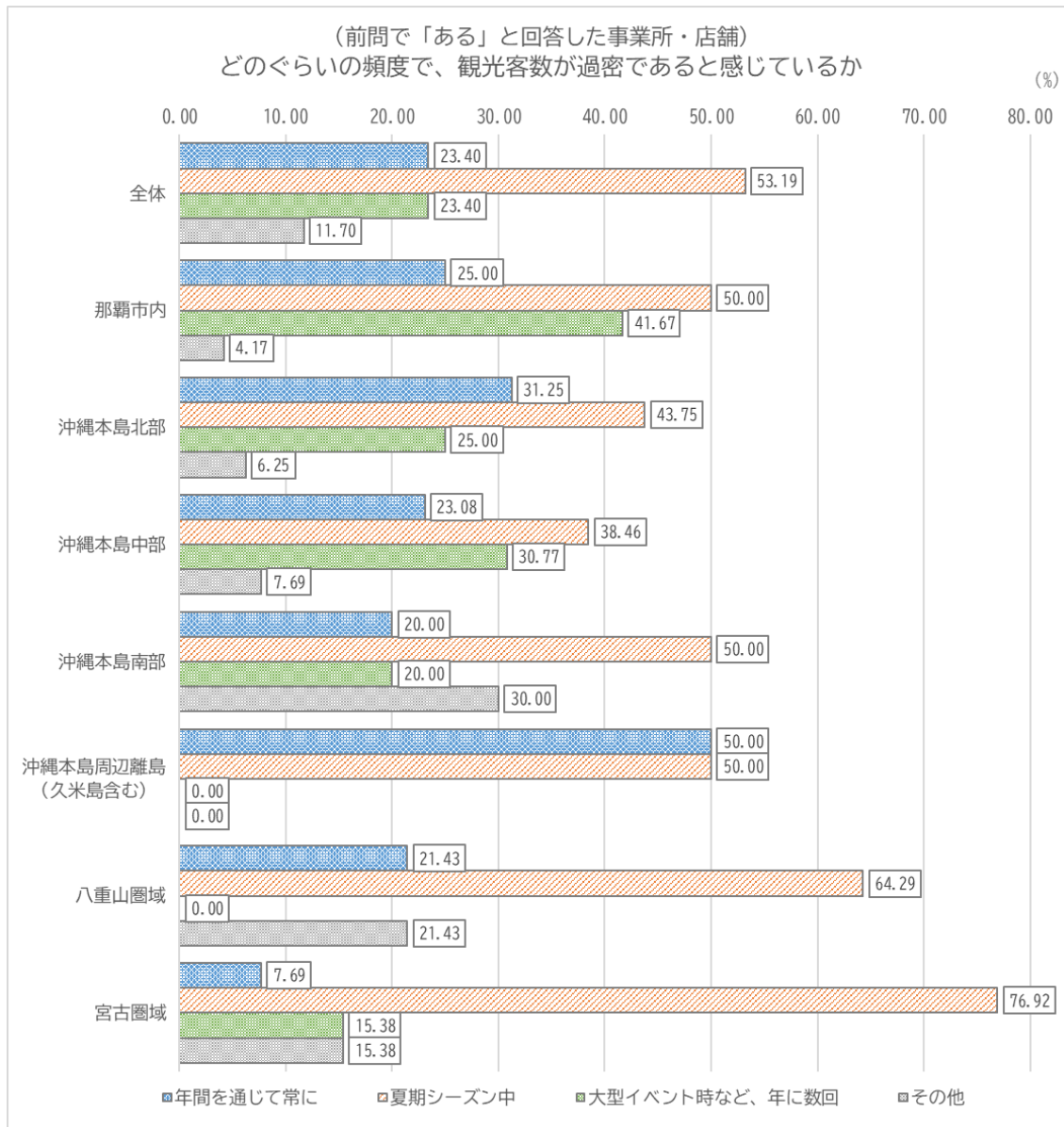
また、観光客の急激な回復に伴う施設や地域の重要な課題として最も挙げられたのは、「交通渋滞の悪化」で、63.79%にも上った。特に沖縄本島からの回答が集中しており、沖縄本島中部では、80.77%に達している。

一方、ごみ問題の悪化についても、那覇市内では48.05%、宮古圏域では56.0%が選択しており、県内の一部地域では、観光客の受け入れの課題となっている。また、沖縄本島周辺離島では、トイレ・休憩施設の不足を、38.46%が課題として選択している。

調査結果からは、観光客の過密度への認識、また、観光客の回復に伴って施設や地域で発生している課題につい

て、地域別に状況が異なることが明らかとなった。継続的に、地域別の観光客の受入状況や受入にあたっての課題を見極めながら、課題解決に向けた支援を進めることで、持続可能な観光地形成に取り組んでいくことが求められる。

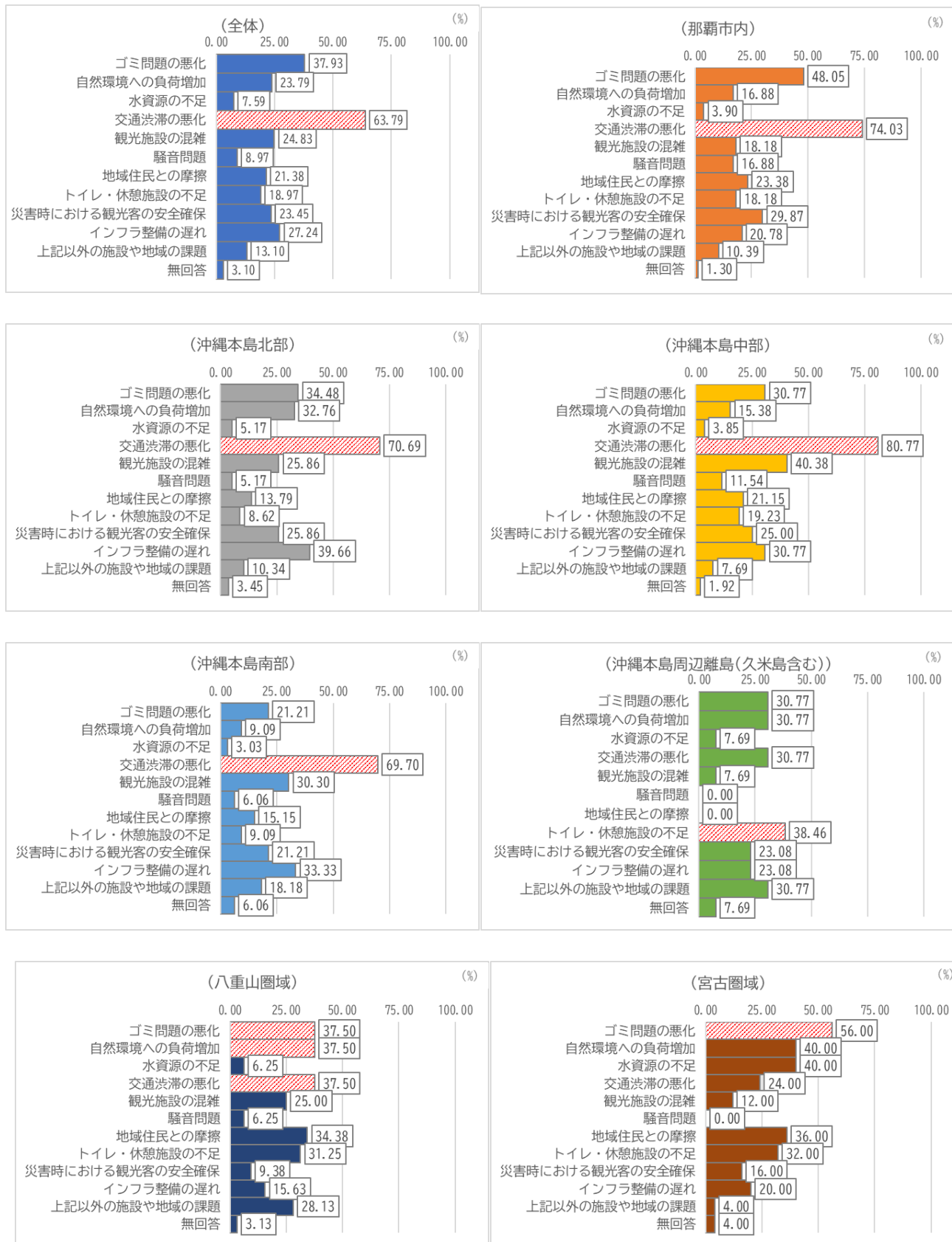
■訪れる観光客数が過密であると感じる機会の有無



(前問で「ある」と回答した事業所・店舗のみ) どのぐらいの頻度で、観光客数が過密であると感じていますか。

	運営されている事業所・店舗が所在する地域							
	全体	那覇市内	沖縄本島北部	沖縄本島中部	沖縄本島南部	沖縄本島 周辺離島 (久米島含む)	八重山圏域	宮古圏域
年間を通じて常に	22 23.40	6 25.00	5 31.25	3 23.08	2 20.00	2 50.00	3 21.43	1 7.69
夏期シーズン中	50 53.19	12 50.00	7 43.75	5 38.46	5 50.00	2 50.00	9 64.29	10 76.92
大型イベント時など、年に数回	22 23.40	10 41.67	4 25.00	4 30.77	2 20.00	0 0.00	0 0.00	2 15.38
その他	11 11.70	1 4.17	1 6.25	1 7.69	3 30.00	0 0.00	3 21.43	2 15.38
無回答	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

■観光客の急激な回復に伴う施設や地域の課題で、重要なもの(3つ選択)



沖縄県観光産業実態調査

観光客の急激な回復に伴う、施設や地域の課題について、重要なものを3つ選んでください。

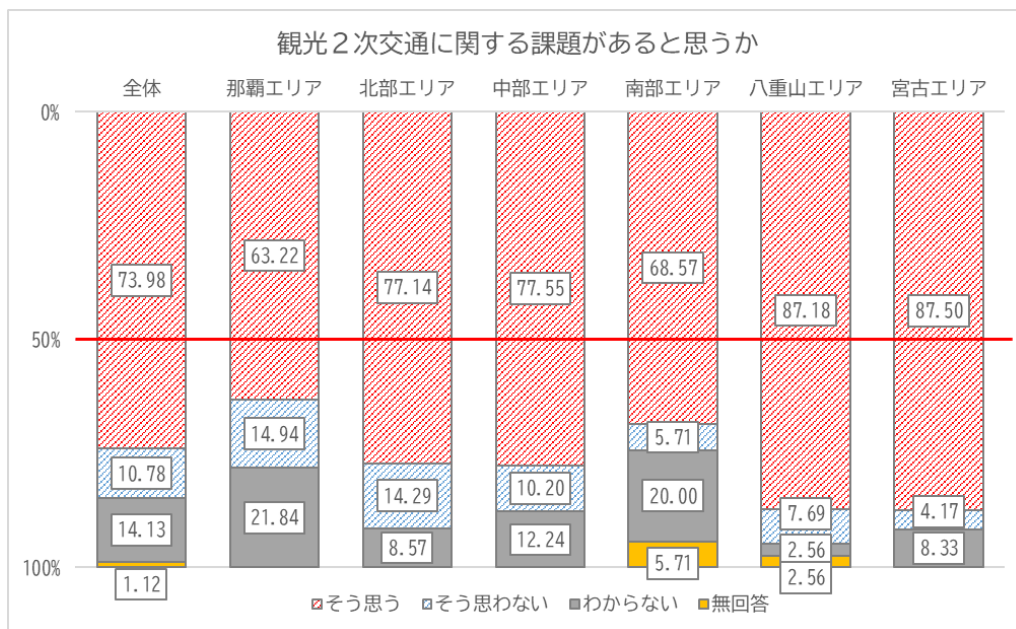
	全体	運営されている事業所・店舗が所在する地域						
		那覇市内	沖縄本島北部	沖縄本島中部	沖縄本島南部	沖縄本島 周辺離島 (久米島含む)	八重山圏域	宮古圏域
ゴミ問題の悪化 (路上や観光地周辺でのゴミ増加)	110 37.93	37 48.05	20 34.48	16 30.77	7 21.21	4 30.77	12 37.50	14 56.00
自然環境への負荷増加 (動植物への影響、景観の悪化など)	69 23.79	13 16.88	19 32.76	8 15.38	3 9.09	4 30.77	12 37.50	10 40.00
水資源の不足 (水道水使用量の増加、水質汚染など)	22 7.59	3 3.90	3 5.17	2 3.85	1 3.03	1 7.69	2 6.25	10 40.00
交通渋滞の悪化 (道路・駐車場の混雑、アクセス手段の不足)	185 63.79	57 74.03	41 70.69	42 80.77	23 69.70	4 30.77	12 37.50	6 24.00
観光施設の混雑 (入場制限、待ち時間増加など)	72 24.83	14 18.18	15 25.86	21 40.38	10 30.30	1 7.69	8 25.00	3 12.00
騒音問題 (宿泊施設周辺、観光地周辺での騒音増加)	26 8.97	13 16.88	3 5.17	6 11.54	2 6.06	0 0.00	2 6.25	0 0.00
地域住民との摩擦 (生活空間への影響、観光客のマナー問題など)	62 21.38	18 23.38	8 13.79	11 21.15	5 15.15	0 0.00	11 34.38	9 36.00
トイレ・休憩施設の不足 (利用者の増加に対する施設のキャパシティ不足)	55 18.97	14 18.18	5 8.62	10 19.23	3 9.09	5 38.46	10 31.25	8 32.00
災害時における観光客の安全確保 (避難誘導、救護、情報提供体制など)	68 23.45	23 29.87	15 25.86	13 25.00	7 21.21	3 23.08	3 9.38	4 16.00
インフラ整備の遅れ (観光客増加に対応した道路、水道、電気など)	79 27.24	16 20.78	23 39.66	16 30.77	11 33.33	3 23.08	5 15.63	5 20.00
上記以外の施設や地域の課題	38 13.10	8 10.39	6 10.34	4 7.69	6 18.18	4 30.77	9 28.13	1 4.00
無回答	9 3.10	1 1.30	2 3.45	1 1.92	2 6.06	1 7.69	1 3.13	1 4.00

8. 観光2次交通の現状と課題に関する認識【景況感調査(第4四半期)】

第3四半期調査では、地域に訪れる観光客数の過密度や、観光客の急激な回復に伴う施設や地域の課題感について特別調査を実施した(前章「7.地域別の観光客の状況【景況感調査(第3四半期)】」を参照)。その結果、訪れる観光客数が過密であると感じる機会が「ある」と回答した事業所・店舗の割合が、平均3割強にとどまったものの、観光客の急激な回復に伴う施設や地域の課題として、「交通渋滞の悪化」に63.79%もの回答が集まった。2024年4月からの働き方改革関連法施行によるドライバーの時間外労働の上限(休日を除く年960時間)規制等の適用開始(「2024年問題」)などによる、運輸業界(バス・タクシー)の人手不足も多く指摘される中、観光2次交通に関する現状と課題について調査を実施した。

調査は、回答者が運営する事業所・店舗が所在する地域における、観光2次交通に関する課題や現状について回答を求めた。調査の結果、回答者が運営する事業所・店舗が所在する地域において、観光2次交通に関する課題があると回答した事業所・店舗の割合は、73.98%に上った。エリア別にみると、課題があると回答した事業者の割合は、八重山エリアでは87.18%、宮古エリアでは87.5%と離島においてより高くなっている。

■観光2次交通に関する課題があると感じる事業所・店舗の割合(エリア別)



問3-1 貴事業所・店舗のある地域で、観光2次交通に関する課題があると思いますか。

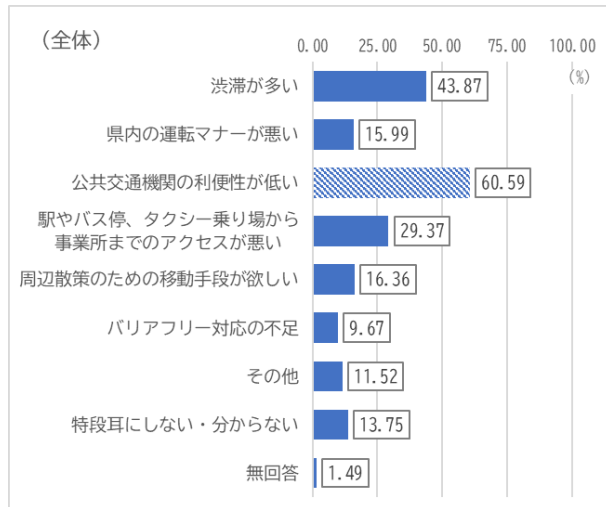
	全体	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エリア	宮古エリア
そう思う	73.98	63.22	77.14	77.55	68.57	87.18	87.50
そう思わない	10.78	14.94	14.29	10.20	5.71	7.69	4.17
わからない	14.13	21.84	8.57	12.24	20.00	2.56	8.33
無回答	1.12	0.00	0.00	0.00	5.71	2.56	0.00

	全体	業種 宿泊サービス	飲食サービス	小売	スポーツ・エンターテインメントサービス	文化サービス	旅行代理店その他の予約サービス	旅客輸送サービス	輸送設備レンタルサービス
そう思う	73.98	79.35	71.05	62.22	77.78	81.82	89.29	56.00	75.00
そう思わない	10.78	7.61	10.53	15.56	11.11	9.09	7.14	24.00	0.00
わからない	14.13	11.96	15.79	22.22	11.11	9.09	3.57	16.00	25.00
無回答	1.12	1.09	2.63	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00

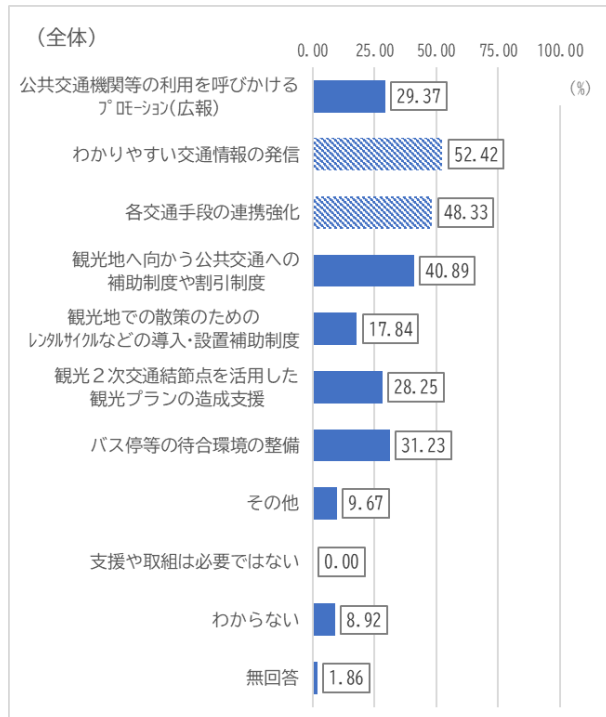
沖縄県観光産業実態調査

事業者に寄せられた観光客からの意見・要望として、「公共交通機関の利便性が低い」との回答が、60.59%と最も多くなっている。課題解決のためにどのような支援や取組が必要となるかについて、事業者からは、「わかりやすい交通情報の発信（運行情報や乗換案内など）」が52.42%と最も高い回答となった。

■観光 2 次交通に関する意見・要望(観光客)



■課題解決のために必要な支援や取組



問3-2 貴事業所・店舗を利用される観光客から、県内での移動（観光 2 次交通）に関してどのようなご意見・ご要望をよく耳にされますか。

	全体	エリア 那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山 エリア	宮古エ リア
渋滞が多い	43.87	65.52	25.71	65.31	51.43	2.56	4.17
県内の運転マナーが悪い	15.99	16.09	22.86	10.20	17.14	17.95	12.50
公共交通機関の利便性が低い (運行本数が少ない、早朝・夜間の運行が必要、路線図が分かりにくい)	60.59	44.83	77.14	59.18	65.71	66.67	79.17
駅やバス停、タクシー乗り場から事業所までのアクセスが悪い	29.37	24.14	45.71	36.73	20.00	28.21	25.00
周辺散策のための移動手段が欲しい (電動サイクル、キックボードなど)	16.36	11.49	28.57	20.41	2.86	20.51	20.83
バリアフリー対応の不足	9.67	10.34	5.71	8.16	5.71	17.95	8.33
その他	11.52	6.90	20.00	14.29	11.43	10.26	12.50
特段耳にしない・分からない	13.75	22.99	8.57	12.24	8.57	7.69	8.33
無回答	1.49	0.00	0.00	0.00	5.71	5.13	0.00

	全体	業種 宿泊サー ビス	飲食サー ビス	小売	スポー ツ・娯楽 サービス	文化サー ビス	旅行代理 店その他の 予約サー ビス	旅客輸送 サービス	輸送設備 レンタル サービス
渋滞が多い	43.87	36.96	52.63	46.67	27.78	27.27	57.14	48.00	58.33
県内の運転マナーが悪い	15.99	19.57	13.16	4.44	22.22	0.00	7.14	40.00	16.67
公共交通機関の利便性が低い (運行本数が少ない、早朝・夜間の運行が必要、路線図が分かりにくい)	60.59	64.13	47.37	42.22	55.56	90.91	82.14	60.00	75.00
駅やバス停、タクシー乗り場から事業所までのアクセスが悪い	29.37	35.87	26.32	8.89	38.89	54.55	32.14	16.00	50.00
周辺散策のための移動手段が欲しい (電動サイクル、キックボードなど)	16.36	20.65	13.16	6.67	22.22	9.09	32.14	4.00	16.67
バリアフリー対応の不足	9.67	6.52	7.89	8.89	16.67	0.00	17.86	16.00	8.33
その他	11.52	17.39	5.26	15.56	16.67	9.09	7.14	0.00	0.00
特段耳にしない・分らない	13.75	13.04	21.05	24.44	16.67	9.09	3.57	4.00	0.00
無回答	1.49	1.09	2.63	0.00	0.00	0.00	0.00	8.00	0.00

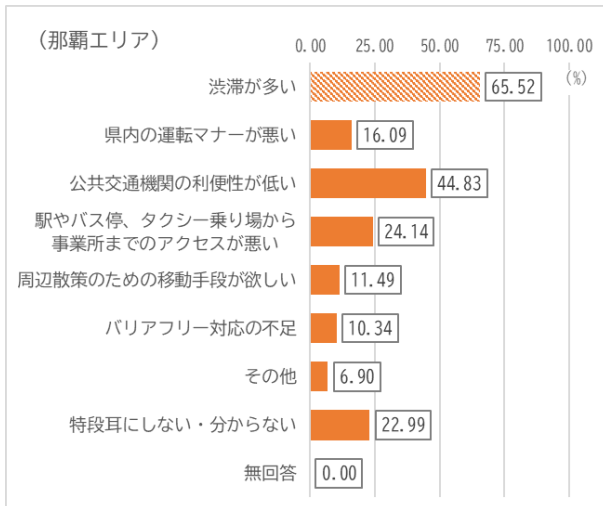
エリア別にみると、那覇エリア・中部エリアでは、県内での移動(観光 2 次交通)に関する意見・要望として「渋滞が多い」が最も回答が多くなっている。課題解決のために必要な支援・取組については、「わかりやすい交通情報の発信」、「各交通手段の連携強化」、「観光地へ向かう公共交通への補助制度や割引制度」が、中部エリアを除くすべてのエリアで回答上位3位までに入っている。(中部エリアは、「観光地へ向かう公共交通への補助制度や割引制度」の代わりに、「公共交通機関等の利用を呼びかけるプロモーション(広報)」が回答上位3位に含まれているが、他の2つの選択肢については、他エリアと共通している。)

沖縄県観光産業実態調査

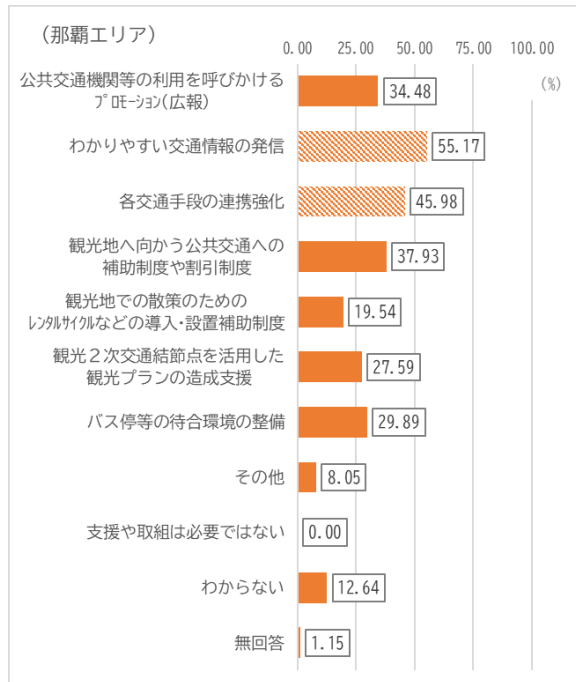
エリアごとの観光 2 次交通を巡る具体的な課題感は異なるものの、観光 2 次交通の課題解決に向け、必要とされる支援や取組については、いずれのエリアでも共通した傾向がみられる。一方、自由記述では、「駐車場が不足している」や、「道路標識が見えにくい(文字が消えている、多言語対応がない)」、「道路渋滞に伴いバスの定時運行が阻害されている」(本島エリア)、「クルーズ船寄港時のタクシー・貸切バスの不足」(八重山・宮古エリア)などが挙げられており、エリアごとに抱える課題もあることが伺える。観光2次交通の推進に向け、地域の課題・実情を踏まえた施策展開が求められている。

(那覇エリア)

■観光 2 次交通に関する意見・要望(観光客)

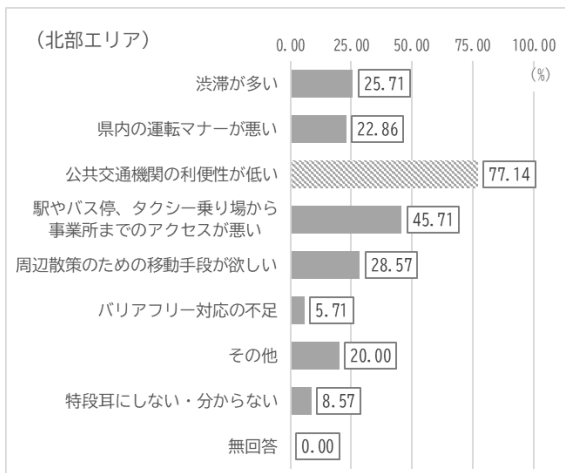


■課題解決のために必要な支援や取組

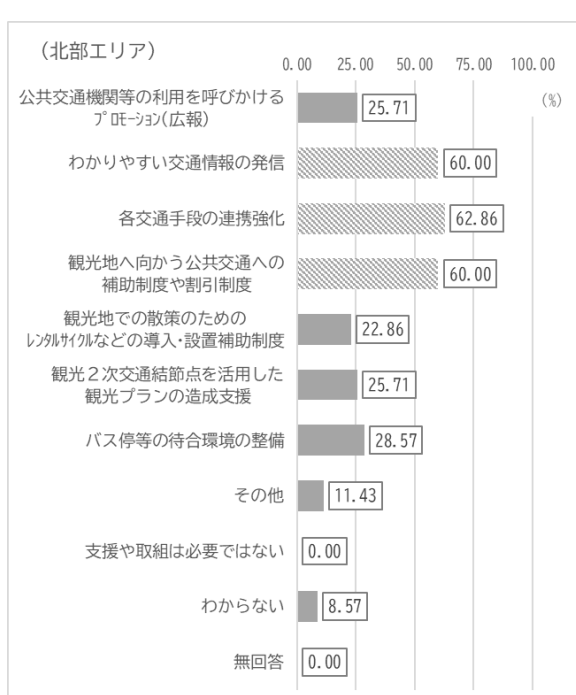


(北部エリア)

■観光 2 次交通に関する意見・要望(観光客)

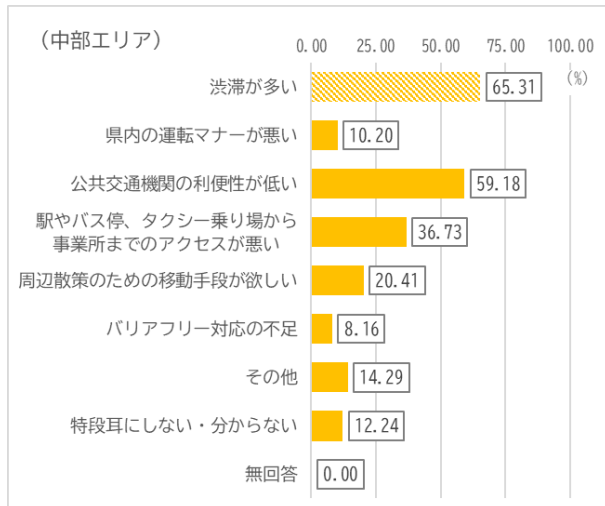


■課題解決のために必要な支援や取組

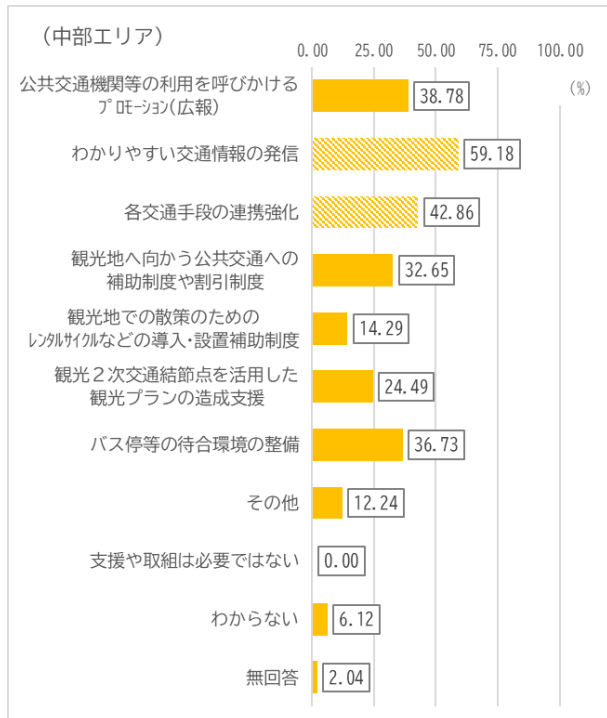


(中部エリア)

■観光２次交通に関する意見・要望(観光客)

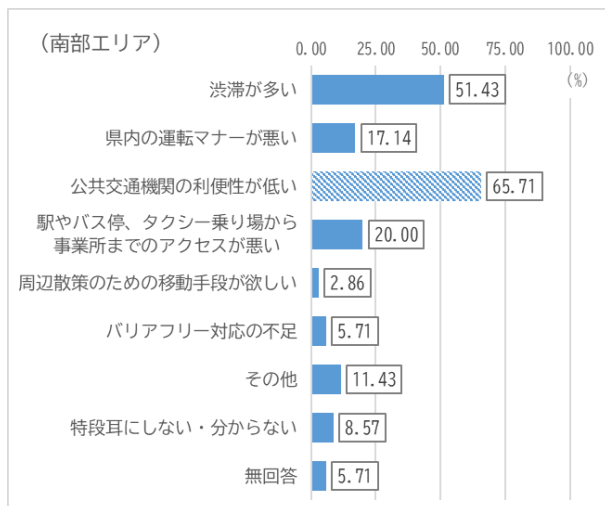


■課題解決のために必要な支援や取組

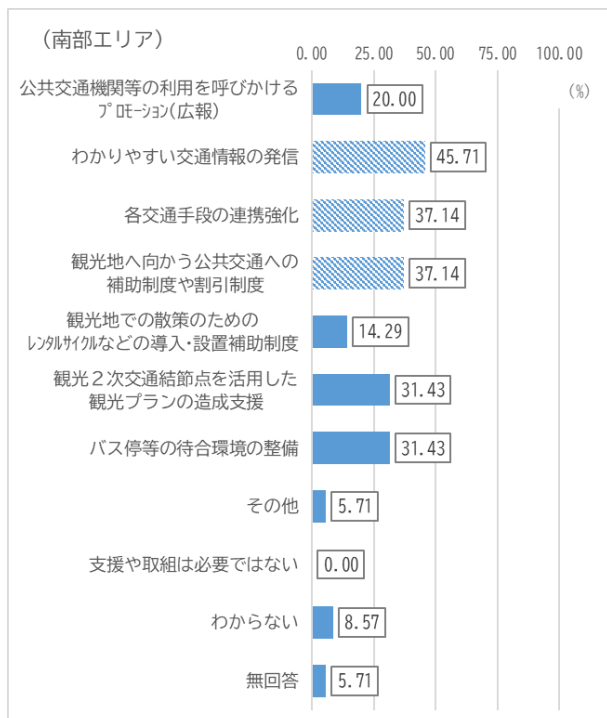


(南部エリア)

■観光２次交通に関する意見・要望(観光客)

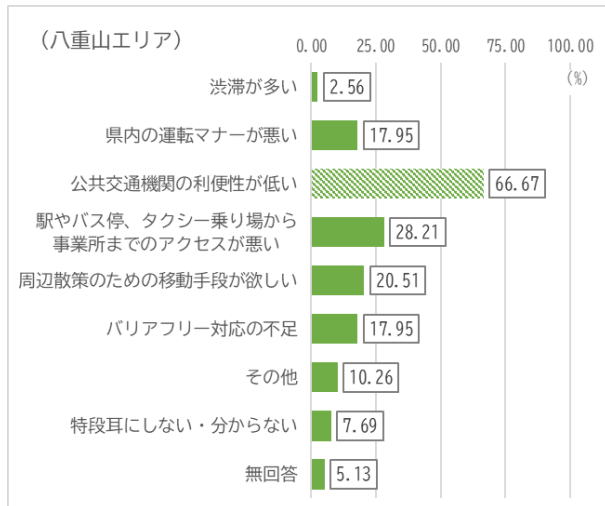


■課題解決のために必要な支援や取組

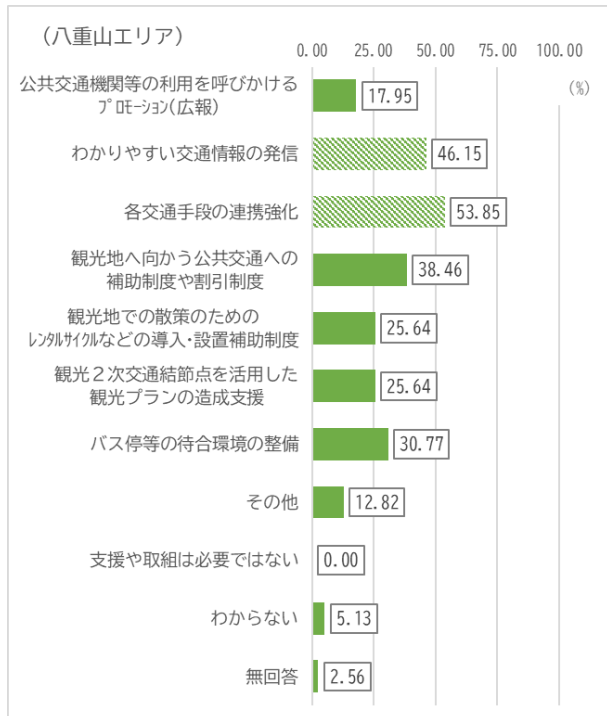


(八重山エリア)

■観光２次交通に関する意見・要望(観光客)

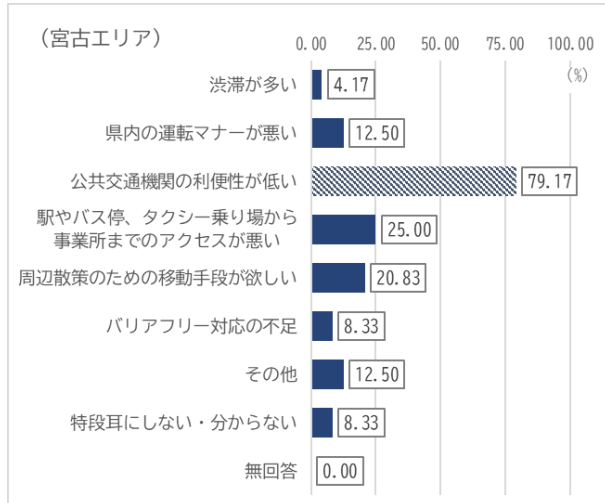


■課題解決のために必要な支援や取組

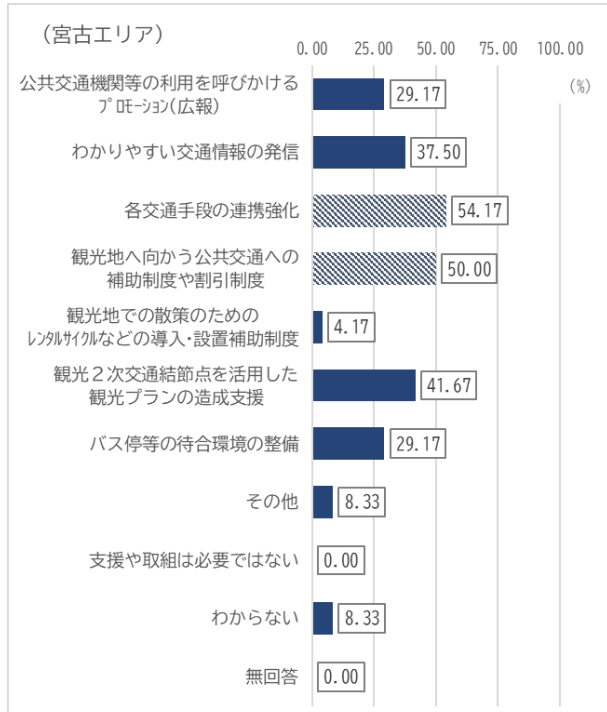


(宮古エリア)

■観光２次交通に関する意見・要望(観光客)

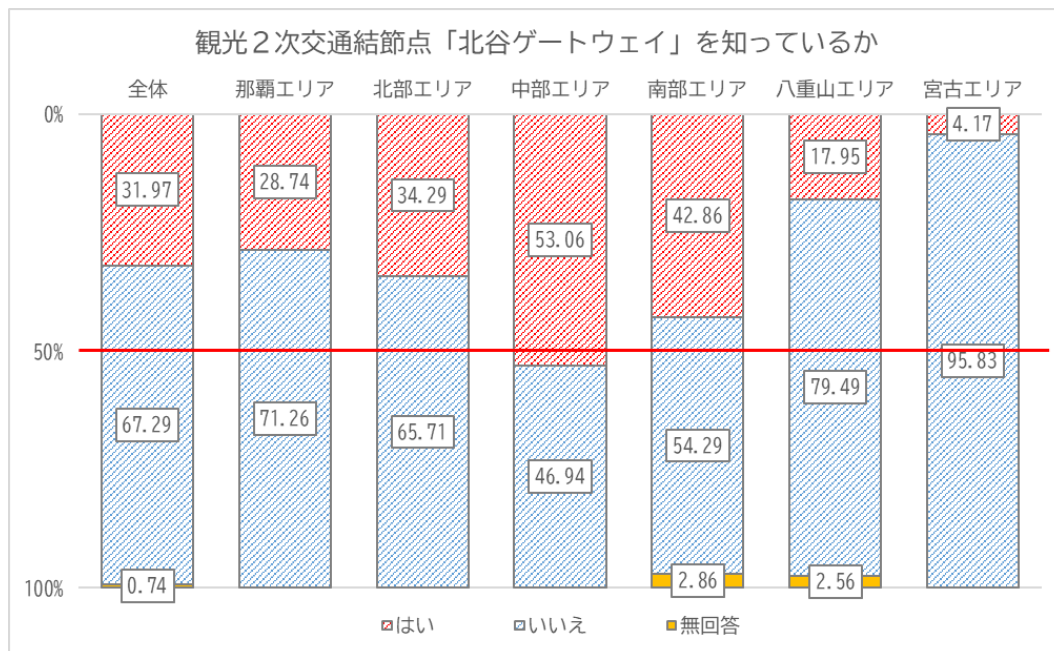


■課題解決のために必要な支援や取組



沖縄県観光産業実態調査

なお、観光2次交通の強化・公共交通の利用促進等のために、県が実施している観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」の認知度は、北谷町が位置する中部エリアでは他エリアと比較して知っているという回答した割合が 53.06%と高かったものの、全体では 31.97%に留まっている。本取組の認知度向上は、今後の施策展開を図る上で課題となっている。



問3-4 観光2次交通の強化・公共交通の利用促進等のために、現在、沖縄県が実施している観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」を知っていますか。

	全体	那覇エリア	北部エリア	中部エリア	南部エリア	八重山エリア	宮古エリア
はい	31.97	28.74	34.29	53.06	42.86	17.95	4.17
いいえ	67.29	71.26	65.71	46.94	54.29	79.49	95.83
無回答	0.74	0.00	0.00	0.00	2.86	2.56	0.00

	全体	業種 宿泊サービス	飲食サービス	小売	スポーツ・ エンタ サービス	文化サ ービス	旅行代理 店その他 の予約 サービス	旅客輸送 サービス	輸送設備 レンタル サービス
はい	31.97	28.26	26.32	20.00	44.44	54.55	50.00	40.00	25.00
いいえ	67.29	70.65	73.68	80.00	55.56	45.45	50.00	56.00	75.00
無回答	0.74	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	0.00